


<p>インドネシア共和国</p>  <p>赤が自由と勇気、白が正義と純潔を示している。白の上に赤があり、純白の上に立つ勇気という意味を持っている。</p> <p>独立：1945/8/17 国連加盟：1950/9/28 政体：共和制</p>		<p>国の概要</p>	<p>首都</p> <p>ジャカルタ</p>
			<p>国土</p> <p>面積 190万5,000 km² (日本の5倍) スマトラ、ジャワ、ボルネオ、スラウェシをはじめ、大小合わせて14,000を越える島々からなる世界最大の島嶼国で、環太平洋造山帯とアルプス・ヒマラヤ造山帯の接合部であり、スマトラからジャワ、スラウェシにおよぶ火山帯がある。</p>
			<p>人口</p> <p>2億2,280万人</p>
			<p>言語</p> <p>インドネシア語(公用語)、ジャワ語、スンダ語</p>
			<p>通貨</p> <p>ルピア</p>
			<p>気候</p> <p>1年中、高温の国であるが雨季と乾季があり、雨季は涼しい日が続く、朝晩は長袖の服が必要となる。乾季は日差しと照り返しでかなり暑い。日陰に入ると湿気が少ないので風は涼しい。</p>
			<p>民族</p> <p>マレー系諸族(ジャワ族40%、スンダ族15%、バハサ族12%)華人系</p>
		<p>宗教</p> <p>イスラム教88%、プロテスタント5% カトリック3%、ヒンズー教2%、仏教1%</p>	
<p>教育制度の概要</p>	<p>学校体系</p>	<p>・幼稚園(3歳～)、小学校は6年間(7～12歳)、中学校は3年間(13～15歳)、高校は3年間(16～18歳)、大学などの高等教育(19歳～)となっている。</p>	
	<p>義務教育</p>	<p>・その年の7月1日までに満6歳になる者はその年の7月第3週に義務教育の第1学年に入学する。</p> <p>・校舎等教育設備が不備なため、午前・午後の2部制をとっている地域もある。</p> <p>・小学校と中学校9年間(7歳から16歳まで)が義務教育期間である。それぞれの卒業時に統一国家試験が実施され、個別科目と全科目平均点について基準(10段階評価)が設定されていて、基準点を下回ると卒業できない。もう1年やり直すか、社会人などを対象に各学校段階に応じて実施されている認定試験に合格しなければ上級学校へ進学ができない仕組みとなっている。</p> <p>・義務教育といっても学費、教科書は無償ではない。</p> <p>・貧富の差があり、学校に通えない子どもも多い。父親の仕事を手伝ったり、道で物売りをしたりしている子どもも見ら</p>	

		<p>れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校年度は 7 月の第 3 週～翌年の 6 月第 1 週であり、2 学期制をとっている。 ・ 1 学期は 7 月～12 月、2 学期は 1 月～6 月である。 ・ 小学校では一般的な学習をするが、特徴的なのは、パンチャシラ(インドネシアの国是 5 原則；神への信仰・民族主義・民主主義・人道主義・社会正義)の教育が小学校から行われる。 ・ また、小学校低学年より躰や人間関係について学びながら学校外で活動する。 ・ 中学校では技術や工業、農業などの実技の習得やコンピュータの授業も多くなる。 ・ 学習言語はインドネシア語だが第 2 言語として 33 州の各地の言語と英語を学ぶ。 ・ 教育カリキュラムは国家教育省できめる。 ・ 公立校では、授業は朝の 7 時 15 分ごろ始まり、12 時 30 分ごろに終わる。この 5 時間で 7 校時の授業が行われている。 ・ 小学校 1・2 年は 30 分授業で、理科と社会がなく、週 30 時間で早く下校する。小学校 3 年生からは 1 校時 40 分で、休み時間が 1 回しかない時間割になっている。各教科等の週時数は小学校 5 年生でインドネシア語 8 時間、数学 8 時間、理科 6 時間、そして、社会が 5 時間、技術・美術、健康・スポーツが 2 時間ずつである。中学校は小学校高学年と同じ週 42 時間であり、教科もほぼ同じである。インドネシア語と数学の時間が少なくなって、英語が 4 時間学ばれている。 ・ それぞれの地方言語の学習、その土地でしか学べないことから学ぶ「総合学習」が 7 時間組み入れられている。 ・ 体育館やプールは整備されてなく、運動場も狭く、バスケットコート程度のスペースである。体育の授業は近くの農場で行っている。
	<p>義務教育後の教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校、専門学校、高等専門学校、大学がある。ジャカルタ首都特別州での高校進学率は 100%に近いが、地方では 60%ほど、大学進学率は 41%である。 ・ 課外授業として、日本語・ドイツ語・フランス語・中国語・アラビア語を選択して学ぶことができる。インターネットを使った教育にも重点を置いている。

	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育は義務ではないが、保育園(4～5歳)と幼稚園(5～6歳)とがあり、有名な私立校や国立校への入学は就学前に幼稚園に通っていなければ入学できないところが多い。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教省が管理するマラドッサ(小学校～中学校)、プサントレン(小学校～大学)という学校も存在し、一般的な教科に加えて宗教を重視した教育(イスラムの躰)を実施し、小・中学校から全寮制での教育が行われている。 ・私立校では、カトリック系、プロテスタント系、仏教系など各宗教理念に基づいて運営されている学校が多数ある。 ・最近、統一国家試験について、「一回の試験で卒業の可否を決めるのはよくない」「生徒の日頃の学習態度や努力などが評価されていない」「学力水準の異なる都市部と地方の子どもが同一基準で評価されている」という問題を指摘する声があがっている。 ・私立校へ通う子どもの多くは自家用車での通学であり、子どもの通学に1台の車が使われる。学校が休みとなると、朝のラッシュは極端に少なくなることから、毎朝早く中心部にまで通学する子どもたちが多いことがよくわかる。
学 校 生 活	休業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・学期中でも断食明けには1週間ほど休みがある。
	学級担任制、教科担任制等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は一人の担任がほとんど担当する。 ・一部のイスラム学校(私立)では、小学校低学年から40人の子どもを3人で指導するなど恵まれているところもある。T2、T3は、サポートしたり、ノート点検をしたりしている。
	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・飛び級や落第がある。
	教育内容の差異	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教、道徳の指導に重点がかかっている。 ・民族数300、使用言語数500という多民族国家のため、さまざまな民族や宗教を認めながら国家としての統一を保つ「ピネカ・トゥンガル・イカ」(多様性の中の統一)の理念を学ぶ「国民の授業」が行われている。
	学校行事の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・愛国心を育てるために、毎週1回、旗揚げが行われ、教師と児童生徒は全員参加し、国旗に敬礼しながら国家を歌う。 ・独立記念日(8月17日)にセシモニーを行う。
	給食	<ul style="list-style-type: none"> ・給食はなく、カンティーンや学校のそばにある屋台で購入するか弁当である。2部制の場合は家で食事をする。 ・一部の私立校にはある。

	チャイムや号令	・チャイムは鳴る。
	教室における行動様式等の違い	・イスラムの教えに従い、学校にいる間もお祈りをする。また、学校には、礼拝する所が男女別に設けてある。 ・宿題がある。
	校則	・公立校には全国共通の、私立校には各学校の制服がある。 ・例えば小学生の場合、赤のズボン、スカート、帽子、上着は白のワイシャツ、ブラウスである。また、中学生では上が白、下が青。高校生は上が白、下が灰色である。 ・曜日によっても制服を変える。例えば、金曜日にはイスラム教徒の礼拝があるため、上下とも白の制服を着る。このため制服の費用が各家庭の大きな負担となっている。 ・学校でのピアス着用は OK である。 ・登下校時に校内で食べ物を取ることは日常的であり、咎められない。
	保護者の授業参観、保護者会、PTA	・授業参観のようなものはない。 ・個人面談は問題のあるときに行う。 ・バザーなどの行事は開催されることが多い。
	子どもの一日	・午前の部は 6:30~11:30 まで休み時間なしに 5 時間の授業、午後の部は昼食後に登校し、夕方まで授業を受ける。登下校時や校内で食べ物を食べるのは普通で咎められない。
生活習慣等	言葉の指導面の留意事項	・各家庭内では、それぞれの部族の言語を用いるが、小学校 1 年生から学習言語としてのインドネシア語を学ぶ。また、同時に英語の学習も始まる。 ・日本語の学習では、「ツ」と「ス」と「チュ」の区別がつかない、「ウ」と「オ」を混同してしまう、「アイ」を「エー」と発音してしまうことがある。
	宗教上の忌避事項	・イスラムの教えに忠実であり、ラマダンの時期にはアルコール類を口にしない。 ・イスラムの教えで、豚は食べない、さわらない、左手は不浄、頭はさわらないなどがある。
	指による数え方 計算方法の違い	・親指から小指に向けて、開きながら数える。 ・桁は 0 が 3 つずつの数え方が通常である。
	食生活	・だいたい 3 食だが、お腹が減れば食べるという感じである。 ・食事をする前に神様にお祈りし、スプーンとフォークを使って食事をするが、料理によっては手で食べるときもある。 ・食事をするときには話したり、音を立てたりすることは行儀

	<p>が悪いとされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豚肉を一切食べず、カレールウの中に豚肉のエキスが入っていれば拒否をする。 ・断食月は日の出ている間は飲食しない。断食の時間帯も宗教省より発表されたものに従っている。 ・街路に面したところの露店（ワルンという）で食事をすることが多い。
衣服住居の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラムの女性は頭にクルドンと呼ばれる布を被る人が多い。お祈りをする時は更にムクナという純白の衣服をまとう。 ・一年中高温であるが、雨季と乾季では少し違っている。雨季は涼しい日が続く、朝晩は長袖の服が必要である。セーターを着ている人までいる。乾季でも、日陰に入ると湿気が少ないので風は涼しく、バイクを運転する人たちは1年中ジャンパーやダウンジャケットを着ている。 ・土をこねたレンガなど、石と土の家である。富裕層は床に大理石などをしき、暑さを凌げるようにしてある。
交通規則の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り合いバス（アンコタと呼ばれる小型ワンボックスカー）が客の求めに応じて路線のどこでも乗り降りできる。ドアは開け放したまま走るのが普通である。 ・オートバイの2～4人乗りも咎められない。 ・道路の横断は基本的にどこでもかまわずできる。腰の辺りに手をひらひらさせ車を静止しながら集団で渡る。 ・信号は日本と同じだが、よく壊れている。数も少ない。 ・車は左側通行である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・8月17日は独立記念日として祝日になっている。各地で様々なイベントが行われるが、代表的なイベントは木登り大会である。これは木の上に様々な商品が用意され、参加者は賞品のために競って上に登る。木にはあらかじめ油などがぬられていて登りにくくしてある。 ・子どもに人気の遊びは、ラヤン・ラヤンといい、日本の凧遊びと同じだが、空中で凧を交わせ、自分の糸と相手の糸をすり合わせて切れたほうが負けになる。 ・じゃんけんは「スイー」といい、日本とは違って、親指が象（ガジャ）、と人差し指が人（オラン）と、小指がアリ（スムット）で勝負する。象は人に勝って、人はアリに勝って、アリは象に勝つ。掛け声は「スイー」である。

		<p>・日本に対するイメージは、「物価が高い」「街がきれい」「文化がユニークでおもしろい」「礼儀正しい」などである。日本語の授業を受けている生徒は特に親しみがある。</p>
--	--	--

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の教育情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・・・・・・・・・平凡社
- ・インドネシアの教育事情・・・・・・・・元ジャカルタ日本人学校 藤田彰彦
- ・世界の国・地域の紹介・・・・・・・・SIRA キッズ
- ・おもしろジャンケン・・・・・・・・アセアンキッズセンター
- ・海外日本人学校経験教員より